

『建設施工協同組合』が創立総会を開催

機械土工の外国人実習生共同受入・職業紹介事業等を行います

組合員の取り扱う安全保護具や業務用消耗品の共同購買、組合員のためにする外国人技能実習生共同受入事業、外国人技能実習生受入に係る職業紹介事業等の事業を行う「建設施工協同組合」が3月19日に(一社)日本機械土工協会会議室において創立総会を開催しました。



同協同組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的としています。

創立総会では冒頭、当協会副会長で設立発起人代表の大崎精一郎氏が(一社)日本機械土工協会の活動状況を踏まえた機械土工工事業界を取り巻く環境や新組合設立の必要性等について述べるとともに「機械土工企業が活用できる事業協同組合の設立は、組合員各位の利益になり、社会的な要請にも応えうる道であると存じます」と挨拶をいたしました。



(初代表理事に選任された戸塚代表理事)

初年度となる令和3年4月1日から令和4年3月31日の事業計画は、ヘルメット、空調作業服等の共同購買事業、外国人技能実習生共同受入及び職業紹介事業の準備期間として規約・規程の作成、送り出し機関との団体監理型技能実習の申込の取次ぎに関する契約締結・監理団体許可の申請等を行う予定です。

なお、総会において理事・監事に【理事】・大崎 精一郎氏(大崎建設㈱代表取締役)・山梨 敏幸氏(山崎建設㈱代表取締役)・水谷 秀雄氏(水谷建設㈱代表取締役)・田中雅博氏(㈱マイタック代表取締役)・江刺家康之氏(員外)・戸塚進也氏(員外)【監事】・保坂 益男氏(員外)・一井 保氏(員外)が選出されました。

その後にかかれた第一回理事会において初代の代表理事に戸塚進也氏が選任されております。

